



会からのお知らせ

○ 7月度定例役員会

日 時 7月7日(土) 13:30～14:30
場 所 市民スポーツセンター大会議室
役員会の前にニュース等の封入作業があります。(13時にお集まりください)
会員の皆さんはどなたでも出席できます。是非お出でください。

○ 第52回東村山雑学講座

日 時 7月7日(土) 15:00～16:30
場 所 市民スポーツセンター大会議室
講 師 原田 道昭氏(会員・昭53理院)
演 題 石炭・中国・そして南極
石炭は過去のものではありません。世界、日本、中国の石炭エネルギー事情とともに、27年前の第20次南極観測隊参加の経験と、最近の南極映像をお届けします。

○ 他稲門会等への出席

東京三多摩支部北部ブロック会議 6月1日(金) 東伏見校舎
小亀事務局長出席
武蔵野稲門会総会 6月9日(土) 吉祥寺東急イン
三宅会長、風間副会長出席

○ 7月度お誕生会(担当芦田)

日 時 7月7日(土) 17:10～19:00
場 所 割烹 丸藤(久米川駅南口 徒歩1分)

* 7月度お誕生の方々(敬称 略) 16名

奥村幾正・小野浩一・川合宏幸・北野二郎・紅松 喬・幸田瑞雄・高橋一彦・高部素行
高鷲 近・田邊正史・富塚哲夫・鍋島高明・松永常尚・三宅良太・横尾正宏・芦田 均

【2007年稲門祭について】

5月号のニュースでもお知らせいたしましたが、稲門祭の福引き券のご購入に是非ご協力をお願いします。ご協力頂ける方は事前に事務局小亀(394-6951)までご連絡のうえ、お手数でも7月7日(土)午後1時に役員会会場(市民スポーツセンター大会議室)まで購入代金をご持参願います。(福引き券は1枚2000円です)

○ 会員消息

野田数(かずさ)さん(H9教育)が東村山市議会議員選挙で二度目の当選を果たされました。今後ますますのご活躍を期待いたします。

山崎光夫さん（S 4 5 教育）が新作を出版されました



「風雲の人 小説・大隈重信青春譜」

山崎光夫著
東洋経済新報社刊
2007年5月3日発行
1785円

〈概要〉

大隈重信は日本初の政党内閣（隈板内閣）を組織した政治家で、早稲田大学を創設した教育者、東西文明の融合を説いた思想家でもあった。大隈が幼名で八太郎と呼ばれていた幕末期の佐賀・長崎時代の生い立ちや活動についてはこれまでほとんど書かれていなかった。

本著では、大隈の無鉄砲で泣き虫だった幼少期から演説上手で寮生を煽動した上、大暴れして退学処分になった藩校時代、英語の重要性にいち早く着目して英学校を作る一方、密輸にも関与して藩に莫大な利益をもたらした長崎遊学時代、さらに結婚、離婚などを含めた青春譜が綴られている。早稲田大学を創った男のその若き日の痛快な生き様を描いている。

本2007年は早稲田大学創立125周年に当たり、大学は「第2の建学」と位置づけ各種イベントを計画している。

また、来年、2008年は大隈重信の生誕170周年にも当たる。

【学生歌・応援歌誕生！】

早稲田大学創立125周年に向けて新学生歌「早稲田の詩（うた）」と新応援歌「早稲田の翼」が完成しました。「早稲田大学校歌」や「紺碧の空」に続く大学の代表歌として、多くの早大生に歌い継がれていくことでしょう。

早稲田大学創立125周年記念学生歌 早稲田の詩

作詩……安岡 健陽
作曲……島 山岡 一優

一
夢見る者 君を語れ
無限の刻 肩を並べ
手を振れば 友が呼ぶ
我らの早稲田の風

新たな穂が めぐり出会い
何処の空 路を拓く
青春よ 永久に
我らの早稲田の風が往く

二
受け継ぐ者 君に誓え
分け合う糧 学の宿命
誰がために 豊かなる
我らの早稲田の森

年月去り 然れど残る
歩みを背に 針路問えば
情熱よ いつの日も
我らの早稲田の森が待つ

三
旅する者 君が唱え
集えばまた 声を合わせ
生まれくる 未来こそ
我らの早稲田の詩

名も無き路 地図に記し
世界を成す 大地となれ
いざ友よ 胸を張れ
我らの早稲田の詩がある
我らの早稲田の詩がある

早稲田の翼

作詞・作曲 早稲田大学応援部

二度とない現在 鍛えた夢を
悔いなく燃やせ 勝利をつかめ
早稲田の杜にみなぎる 新しい風受けて
臍脂の旗は羽ばたく 未知という大空へ

今 歴史に挑め 未来を拓け
王者 早稲田
さあ 走りつづけよう 伝統の先
早稲田 125！

力と心 心と心
スクラムを組め 歓喜を叫べ
早稲田に実る稲穂は 野性を秘めた英知
理想の大河は流れる 永遠という海原へ
今 敵撃ち破り 敵を讃える
王者 早稲田
さあ 走りつづけよう 栄光の先
早稲田 125！



「三都の商い文化今昔－歴史の中に今をみる－」

講師：白石 孝 氏

慶応義塾大学名誉教授・経済学博士

講師の白石孝氏は日本橋堀留の織物問屋に生まれ、慶応大学経済学部を卒業、国際経済学を専攻され、同大商学部教授、同学部長を経て現在名誉教授。国際経済学の多数の論考の他に25年前から実家の日本橋織物問屋のルーツを探る著書を出版されている。

「日本橋街並み商業史」「明治の東京商人群像」「日本橋街並み繁昌史」など。

○江戸の原点 江戸の原点は板東の地であること。京の王権から遠く離れた坂東の地は平将門に代表される反骨する武人を生み出したが、人々は将門を神田明神の祭神として祀った。

○江戸の特徴

1. 武士の町であること 江戸の町の60%は武家地。各藩の藩士が多く江戸に駐在し大名収入の70%が江戸で消費される等、江戸は巨大な消費地であった。
一方、大坂は人口40万人に対して武士2万人。各藩の蔵屋敷が建ち並び、武家側が売り手の、町人優位の町であった。
2. 男社会であること 藩士達は単身で江戸暮らしを行っていたので、当初から男性の比率の高い町であった。
3. 火事の多い町 徳川時代220年を通じて93回の大火事があった。大火事の度に江戸の町は大きく作り替えられていったが、その為に借家住まい75%。商人達も住居にお金を掛けようとしなかった。

巨大な消費地である江戸の町には、灘・伊丹の酒、薩摩・美濃の米、加賀・越前の絹、河内・伊勢の木綿など諸国から多くの物産がもたらされた。

江戸には伊勢や近江の商人が江戸店を出し商業活動を行ったが、その特徴は

伊勢商人 伊勢は400万人にのぼるお伊勢参りの人々の情報の集積地であった。この情報の集積地の特徴を生かし大商人が発生し、様々の専門商社が生まれた。

近江商人 近江は北国街道、東海道の結節点となる交通の要衝に立地し、広域に活動する行商人が誕生した。

これら伊勢、近江の商人に地場の商人達が加わり、江戸は独特の商人気質を生み出していくが、やがて伝統、付加価値を重んじる京都、商機と回転率を重んじる大阪、得意先と利益率を重んじる東京という三都独特の特色を生み出していく。

江戸の商人の特色は・ぶらない・調子にのらない・物にこだわらないの「三ない」で表すことができる。

白石孝氏のご講演は時に江戸言葉や東西歌舞伎の比較に及び、ご専門の経済学的な分析を交えながら、軽妙な語り口の楽しいお話しであった。三都そのものの比較というよりは、ご実家の堀留織物問屋のルーツを探る旅の中から、近江商人、伊勢商人の特色を比較され、加えて旧吉原の地、芝居町の地の艶のある文化観をご披露いただいた。近松や西鶴の世界を楽しく語られながら最後にお好きな「尊きは胸一つ」の言葉で講演の締めくくられた。

20年近く堀留とは隣町の旧通油町、今の太田馬町で繊維の町の息吹をかいだ記録者にとってとても楽しいお話しであった。
(伊藤友己記)



同好会だより

旅行同好会

世話人 風間和夫
小亀輝雄

TEL 394-5279
394-6951

第4回旅行会は、5月17日、18日に行われ、ご参加頂いた皆様のご協力により、楽しい旅行ができました。谷川岳の見事な姿が印象的でした。来年も是非ご参加ください。



なお、詳細については下記高橋正夫さんのエッセイをお読みください。(参加者には、会計報告書、写真、残金精算分をお届けします)

第4回旅行会に参加して

高橋 正夫 (S35政経)

5月17日、東村山駅前を9時に出発、新秋津駅を経由して、関越道へ。生憎、朝からの雨天ではあったが、特別仕立てのサロンバスのなかで、参加者有志から

の格別の差し入れのお酒もふんだんで、朝からの宴会が始まり、おおいに盛り上がりました。

最初の目的地の榛名湖は濃い霧のなかとて湖も見えず、幻想的な空間の中に現れた「湖畔の宿」の歌碑の前で、夜に備えてか、誘われるようにしてTW氏の口ずさむ懐かしい曲、これはなかなかのものでした。そのあと麓にある水沢亭で名物水沢うどんに舌づつみをうちましたが、これはいけました。褒められるままにおかわりも進みました。そのあと、板東16番札所である水沢観音に参拝。公開中の釈迦堂で28体の仏像彫刻や33観音などを見学することができました。雨天だったので、早めの2時過ぎに水上館にチェックイン。

ここは3ヶ所、16の浴槽のあるまさにお風呂のデパートといった感じで、ゆっくりと温泉を楽しみました。夕食は稲門会のための特別サービスのワンランクアップのメニューとのことで、大変豪華なものでした。三宅会長から当館に展示されている陶器の早稲田とのかかわりなども披露されたあと、おおいに盛り上がり、二次会はカラオケ組と飲み足りない組にわかれて時間のたつのも忘れるほどでした。特にカラオケ組は翌日でも余韻覚めやらずのようで、カラオケを百倍楽しむ法を伝授して欲しいかたはどうぞ内藤リーダー(歌)と三宅会長(踊り)にお申し出ください。翌朝、二日酔い気味に窓を開ければ、一点雲なき快晴、旅館から谷川岳がくっきり。稲門会のみなさん、そんなに心がけよかったかなー。



おいしい朝食のあと、早速旅館を9時出発、土合から新装されたロープウェイとリフトを乗り継ぎ、標高1500mの天神峠へ。展望台から残雪の谷川岳は指呼の近さ、上越国境の連山や至佛山、武尊岳、皇海山、赤城山などまさに360度の大展望でした。谷川岳でこれほどの好天はめったにないことと思います。水芭蕉も咲き出して、ご夫人方も歓声。かわいらしい高山植物も咲き始めていたのも収穫でした。下山後、沼田で昼食。それから日本ロマンチック街道を北上して、新緑の美しい片品川の名勝、吹割の滝と中の島にかかる吊り橋などを散策し、充足感を味わって帰路につき、上里・三郷の休憩点を経て、新秋津～東村山駅には5時すぎの帰着でした。

今回も内容が充実していて、毎回ながら万全に行き届いた御手配、気配りをされている幹事の風間さん、小亀さんのご苦労にはただ、ただ頭がさがります。心から感謝いたします。余人を持って変えがたしというのが参加者全員の声でありました。

(参加者) 赤荻、井垣、江藤、岡田、小野、風間、木谷夫妻、小山、幸田、小亀夫妻
高鷲、高橋、土橋、月森、南湖、長井夫妻、内藤、額田、松永、三宅夫妻
八木、山下夫妻の27名

麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523
松永 常尚 332-5621



先にご案内の如く平成19年第2回(39回)大会を下記要領にて開催致します。多数の皆様のご参加をお待ちします。

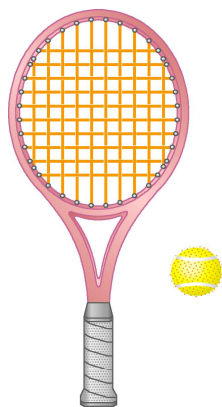
記
日時: 6月17日(日)
集合: 12時10分(時間厳守を願います)
開始: 12時30分
場所: マーじゃんM
本町4-12 アメニティパレス B1F
TEL 397-5228
会費: 7,000円(懇親会費用含む)
締め切り: 6月10日(日)

雀卓、人数の都合上是非お早めにご連絡ください。

(松永記)

テニス同好会

世話人 當間 昭治 TEL 391-6023



5月の例会は20日(日)久米川コートで実施予定でしたが、当日市加盟団体のコート周辺の草取り日と重なり、又都合のつかないメンバーも出たことから、残念ながら中止としました。当日は最高気温22度、快晴でしたので、その天気を来月に取って置いてほしいものです。

6月と7月の予定をお知らせします。

記
日時 6月2日(土) 午前9時～午前11時
7月1日(日) 午前9時～午前11時
場所 両日とも久米川コート3

俳句同好会(稲酔会)

世話人 高杉 修 391-8447
井垣 和太 04-2924-2934



第32回「稲酔会」句会は6月23日(土)午後1時から恩多ふれあいセンターでおこないます。

兼題は「梅雨」一切です。間もなく始まる一年で一番うっとうしい季節、梅雨の季節に因む事象・事物何でも結構ですので最低一句を詠んで、新詠(当季吟)とともに5句を持ってお集まりください。

【梅雨考】

「梅雨」は現代では6月10日前後から約1ヶ月間余りのじめじめとした、雨の降る時期を云います。角川書店の図説俳句大歳時記には「梅雨」という文字のつく季語が40程掲載されています。春夏秋冬に加えて「梅雨」という日本独特の気候を、俳句の世界では、重要な季題として扱ってきたのでしょう。

「五月晴」「五月雨」なども、今は文字通りの5月の気象として扱われていますが、本来は梅雨の合間の好天気を「五月晴」、梅雨時に降る雨を「五月雨(さみだれ)」と云います。

そう云うことを心得ていますと

五月雨を集めて早し最上川 芭蕉
うれしさや小草彩もつ五月晴 子規

などの句の景色がより鮮明になり、スケールの大きさや色の対比がくっきりと頭に浮かんで来るのではないのでしょうか。

(稲雀記)

園芸の会

世話人 當 摩 照 夫・彰 子 TEL 396-3033

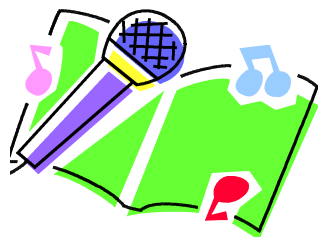


5月11日に春の草花の苗の交換会を、スポーツセンターにて行いました。いつものメンバーに加え、今回より新たに窪田会員夫人の明子さんが参加され、総勢13名で賑やかな交換会となりました。今年もペチュニア、サルビア、ジニア等々、多くの苗が皆さんから持ち寄られました。各家の夏花壇を華やかに飾るものと思います。

次回は、8月中旬にサギ草の鑑賞会を予定しております。詳細が決まりましたら、ご連絡いたします。

カラオケ同好会

世話人 内 藤 慎 TEL 393-5071



5月例会は5月12日開催、メンバーは芦田、井垣、相馬、南湖、山下、内藤の各氏6名、2時間大いに歌いまくり、ご機嫌な一夜でした。これからは夜も過ごし易い季節、歳を忘れて楽しみましょう。

次回は

6月2日（土）カラオケランド ズー 19:20より

お知らせ

例年開催しております新宿の移動教室を次のように予定しております。

多数のご参加をお待ちしております。

7月13日（金）新宿歌舞伎町（芽ぐみ） 17:00-20:00

準備の都合上6月30日までに参加の申し込みをお願いいたします。

（7月の東村山の例会は中止となりますのでご了承ください。）

5月度「お誕生会」報告



担当幹事 芦田 均 393-7525

5月12日（土）17時過ぎ、「丸藤」で、計21名（お誕生者6名、「雑学講座」講師白石慶大名誉教授及び役員）で開催。三宅会長のご挨拶、當間副会長の開会の辞及び小亀事務局長の「乾杯の音頭」のご挨拶で、心のこもったお祝いの言葉を「お誕生者」に頂いた。

今回、ゲストの白石教授から「85歳。年に応じて変わる、4つのがんばる、①がんばれ②がんばるぞ③まだがんばるぞ④がんばらなくちゃ」の元気を頂くお話を皮きりに、東村山稲門会の写真を撮って頂いている赤荻洋一さんから、鉄道（写真）について、今回初参加の上原正行さんも写真を趣味とされ「元気で続けたい」。朝日タウンズにも掲載されたほどの腕前。また、TBSにお勤め（9年）後、期するところが有って改めて大学院（法）で勉強中の尾上友男さんから、若々しく元気なお話を頂いた。72歳を迎えられた相馬信一さんは、杜甫の詩を引き合いに「人生七十古来稀」と、古希の由来に触れられ、「酒債＝趣味としてのゴルフをずっと楽しんで行きたい」とのこと。紅一点、滝川桜子さんは、ご習得の医療心理、生理学を生かした仕事について、また、森本吏さんは尾崎罌堂と同じ神奈川県のご出身で、早稲田で政治学を学んで罌堂の何たるかが、判明した、などのお話を伺った。

記念品贈呈、「ハッピー・バースデー・ツー・ユー」、役員の自己紹介、懇談と続いた。風間副会長の閉会の辞、小亀事務局長初指導の市稲門会の歌、校歌斉唱と、あっという間に終焉の幕が下りた。

5月度のお誕生の方々をはじめとした皆様、来年もまた、元気で会いましょう。



コサギ

南湖修一（S48商）

“白鷺だ”などと時々耳にします。兵庫県姫路市にある“世界遺産”姫路城もその美しい白壁や石垣などから「白鷺城」という別名を持っています。しかし、実際は「シラサギ」という鳥はいません。白いサギ類の総称として使われているものです。

サギ類は首をZ字に曲げて飛びます。くちばしは真っ直ぐで、足や首は長く、樹の上に巣を作ることが多い鳥です。

白いサギ類には、コサギ、チュウサギ、ダイサギなどがいます。まさに小、中、大でその大きさからこれらの名称が生まれたようです。

コサギは大きさは60cm位でくちばしは黒く、足の指は黄色です。後頭部に細長く伸びた毛が特徴です。チュウサギはコサギよりもやや大きく70cm程度で、くちばしは黄色で足は全体が黒色です。ダイサギはチュウサギより大きく90cmほどで、外見はチュウサギとほぼ同じです。そんな訳でダイサギとチュウサギの見分けが難しいのですが、チュウサギを見かけるのは珍しいので、コサギでなかったら、だいたいはダイサギと思って良いのではないのでしょうか。

空堀川周辺では、コサギをよく見かけます。多いときには、3～5羽確認できます。浅瀬などでヌキアシサシアシで獲物に近づき、首をズイッと水中に伸ばしたかと思うと小魚をついばみ、顔を水面から出し、丸呑みしています。また、コサギが時々川辺の電線にその白い美しい姿を見せている時があります。コサギとはいえ、小鳥から比べるとかなり大きいので、電線に止まっている姿は何となくアンバランスで今でも調子はずしで落っこちるのでは、と思うことがあります。だけど、しっかり電線上に静止しているのです。感心してしまいます。

白色のサギについて述べてきましたが、白くないサギもいます。薄いグレーのアオサギ、山下達郎の“ヘロン”という歌で一躍脚光を浴びました。アオサギよりもっと濃いグレーのクロサギなどです。クロサギはなかなか居ませんが、房総の野島崎灯台の近くの海辺の岩場で見かけたことがあります。アオサギは空堀川周辺ではこれまで1回遭遇しました。それ以外は別の場所、例えば東村山森林公園内の山田沼などには結構いて会うことができます。

空堀川周辺ではまだ見たことがありませんが、サギの仲間アマサギというものもあります。これはなかなか珍しいサギで、私は、東松山森林公園周辺の田んぼで見たことがあります。大きさはコサギよりちょっと小さめ（50cm程度）で身体も白色ですが、顔、首から胸にかけてのオレンジ色が特徴です。結構美しい鳥です。

サギ類は身体が比較的大きいので、いればすぐ確認できます。それだけ人目につく場所に普通にいることが多いのです。東村山市内にも結構いますので、皆さんぜひ探してみてください。コサギかな、ダイサギかな、あるいはチュウサギかな？

俳 壇

五月雨や別離を告ぐるクラクシオン
春風や家族が増えて墓参り
井垣 稲雀

名刹の大樹を渡る蟻の列
真赤なる仁王の顔に風薫る
大野 恵峰

早苗田に大風小風吹き渡る
鉄琴の音はつなつの空を裂く
菊田 一平

母子草名残り踊子草名残り
帆船の帆柱高し囀れり
幸田 瑞雄

新緑や瀬音も弾む峡の宿
新緑や藤の残りし峡の奥
高杉 風至

新鋭の四股名染めたる浴衣かな
汗拭きや裏方もまた楽しかり
高部 糸行

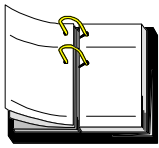
二の腕の張りまだ残る衣更
菖蒲葺き日本男子の役なりし
内藤 慎

軒連ね競いあいての薔薇つくり
万緑の只中古木泰然と
丸本 北窓

届きたる新茶に思ふ縁かな
花道を出づるがごとくほたる飛ぶ
八木 竜湖

利根川をいなく青葉や岨の宿
年の差の青葉に埋もる集ひかな

今月の予定（6月）



2日（土）テニス同好会
6月度役員会
お誕生会
カラオケ同好会
16日（土）囲碁同好会
17日（日）麻雀同好会
23日（土）俳句同好会

7月上旬の予定

1日（日）テニス同好会
7日（土）7月度役員会
雑学講座
お誕生会
13日（金）カラオケ同好会



編集局だより

編集局：三宅、中村

○昨年11月に山下邦康前会長よりバトンを受け半年が経ちました。この間毎月の定例幹事会、お誕生会、奇数月の雑学講座、イベントは1月の新年会、4月の花見会等皆様の絶大なご協力により無事経過し、この間悩ましい案件についても幹事有志のご熱意・誠意に支えられ、何とか乗りこえることが出来ました。唯々感謝あるのみでございます。

さて毎月会員皆様にお届けしております稲門会ニュースですが、小亀輝雄事務局長主宰の編集会議で中村眞弓幹事による見事な編集原案を皆で検討、最終調整の上、ご多忙のところ當摩照夫氏（45理工）夫妻に印刷頂き、ポストマン皆様の手で配達して頂いております。皆様方の献身的なご奉仕に本当に頭が下がる思いです。

東村山稲門会の同好会等諸活動振りは近隣稲門会からも大変注目されており、一部同好会の交流も始まっておりますが、世話の方々のご努力により益々広がりが進めばと存じます。他大学に比し珍しい校友会の活発な動きは母校早稲田大学の大きな力・社会貢献ではと思量致します。会員皆様方もどんどんご都合をつけて頂き、各種会合にご参加頂き、併せて稲門会発展継続の為、新規会員の勧誘にもお力添え頂きますよう期待致しております。

大変至りませんが、今後共何卒よろしくご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。
（会長 三宅良太）

○スリーデーマーチの参加者たちを見て刺激を受け、ついにウォーキングを始めました。といっても40kmなどと大それたものではなく、なるべくウォーキングを習慣にしよう程度のものです。多摩湖コース、空堀川コースと行き先はその日の気分次第、足の向くままに決めています。ある日東村山市の境まで空堀川沿いを歩いてみたくなりました。志木街道に架かる野塩橋まで行きゴールは秋津駅です。そこでちょっと休憩して戻りましたが、美住町の自宅から往復で約10km、2時間半ぐらいかかりました。東村山市内を横断した形ですが思ったより近かったです。でもこのような遠出はまれで普段は1時間ぐらを目安に歩いています。

○次号の原稿締め切りは6月27日です。よろしくお願いいたします。（中村眞弓）